



志木第九の会 第13回 定期演奏会

ANTONÍN DVOŘÁK
STABAT MATER op.58

ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」作品58

ソプラノ：黒澤 明子
アルト：山下 牧子
テノール：小林 彰英
バス：タン・ジュンボ
オルガン：矢内 直子

管弦楽：東京ニューシティ管弦楽団
合唱：志木第九の会合唱団

音楽監督・指揮：三澤 洋史



第10回定期演奏会/2007.2.4

2008年9月7日(日) 2:30 P.M. 開演
志木市民会館パルシティ / 入場料：2,500円
共催：(財)志木市文化スポーツ振興公社

後援：志木市 / 志木市教育委員会 協賛：株式会社メディアッティ東上

志木第九の会 第13回 定期演奏会

■ スターバト・マーテル (悲しみの聖母)

— わが子を失った母の悲しみを穏やかで美しい旋律で描く —

「悲しみに沈める御母は涙にむせびて
御子の懸り給える十字架のもとにたたずみ給えり」

わが子イエス・キリストが、ゴルゴタの丘で磔刑に処せられたのを見届けた聖母マリアの嘆き。「悲しみの聖母」は、あらゆる宗教曲の中でも、最も美しく痛ましい内容をうたっている。三人の愛児を相次いで失ったドヴォルザークが、聖母マリアの嘆きと自身の心情とを重ね合わせて、深い悲しみを克服し、穏やかな平安を求めようとする、真摯な祈りに満ちた作品となった。



ルイス・デ・モラレスの「悲しみの聖母」

■ ドヴォルザーク

— ボヘミアの土の香りを全世界に発信した作曲家 —

スメタナとともに、19世紀後半のチェコ(ボヘミア)国民楽派を代表する大作曲家。「スラブ舞曲」で、一躍人気作曲家となり、50歳でプラハ音楽院教授に就任、後に院長。1892年から3年間、新設のニューヨーク・ナショナル音楽院長として招聘され渡米、アメリカとチェコの民俗音楽を高度に融合した作品を発表した。

作品には、交響曲第8番<イギリス>、交響曲第9番<新世界>をはじめ、弦楽四重奏曲第12番<アメリカ>、チェロ協奏曲口短調、弦楽セレナーデなど、叙情豊かな旋律が親しまれている。



ドヴォルザーク

「スターバト・マーテル」は、ドヴォルザークの他の作品に比べて、演奏される機会は多くありません。全曲を通して流れる静和で美妙な響きは、変動の激しい時代を生きる私たちには、癒しのひとときとなることでしょう。

志木市民会館 パルシティ

住所：志木市本町 1-11-50
電話：048-474-3030
交通：東武東上線 志木駅 下車
東口より徒歩15分
バス 昭和大道 下車2分

●駐車場(有料)が狭いため お車での来場は
ご遠慮下さい



ご案内図

お問い合わせは 志木第九の会 事務局まで
〒353-0001 志木市上宗岡1-4-1-106 岡崎方
TEL/FAX 048-473-6368
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~freude/>

(プレイガイド)

志木市民会館パルシティ	TEL 048-474-3030
フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ	TEL 048-496-1000
志木市民体育館	TEL 048-474-7666
志木市民総合センター	TEL 048-475-0011
柳瀬川駅前出張所	TEL 048-472-4449